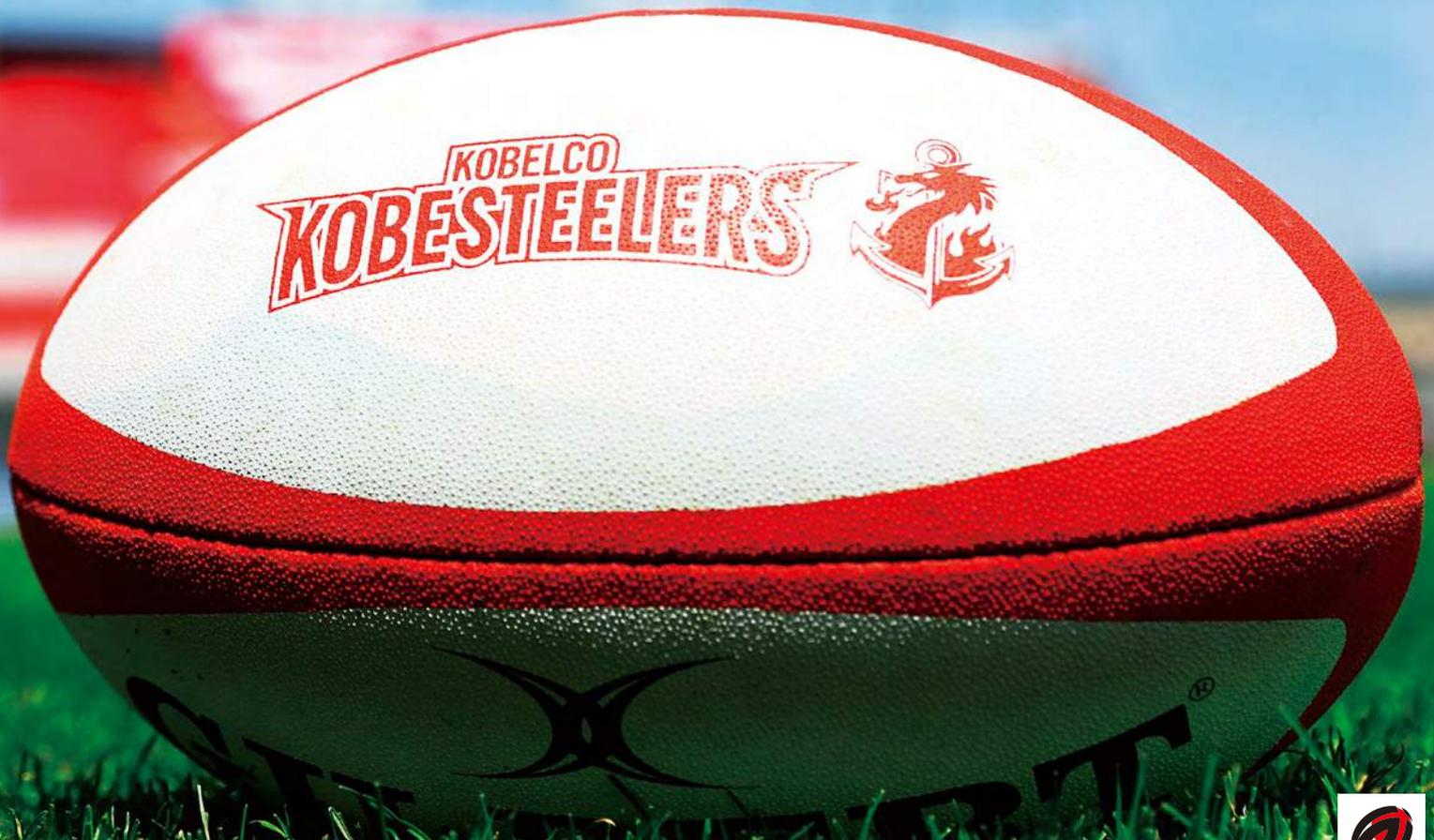




# KOBELCO KOBE STEELERS ANNUAL REPORT 2022-2023



# Steel Matesに支えられていることを 心に深く刻まれたシーズン

Steel Matesの声援がかつてないほど心強く感じられたシーズンであった。劣勢の場面やビジターゲームで聞かれた神戸コール。チームディレクターの福本正幸は「秩父宮ラグビー場で起こった神戸コールを聞いて胸を打つものがありました」と感慨深げに語る。なかなか結果がついてこない中でも、チームを信じてスタジアムに足を運び、熱い声援を送ってくれたSteel Mates。リーグワン参戦を機に新たに掲げた「SMILE TOGETHER」というチームビジョン通り、Steel Matesとともにもっと笑顔になりたかったという思いは強い。

振り返れば、今シーズンは、7位に沈んだリーグワン2022から巻き返しを誓った1年だった。2012年シーズンよりコーチを務めるニコラス・ホルテンをヘッドコーチに据え、新たに平島久照、橋本大輝をスタッフに加えて新しい体制とし、チームは7月から始動。新戦力には、ニュージーランド代表15キャップのCTBナニ・ラウマベ、昨シーズン、三菱重工相模原ダイナボアーズをディビジョン1に押し上げたCTBマイケル・リトル、南アフリカ代表としても活躍しリーダーシップも合わせ持つNo.8マルセル・クツェーをはじめとする13名が加わった。

2018年シーズンのトップリーグ優勝からメンバーが大幅に入れ替わる中で、チームの歴史、文化を学び、「神戸ラグビー」をグラ

ウンドで体現するためのスキルを落とし込む。

周到な準備をした上で、昨年10月下旬、大分合宿の前にキャプテンの橋本皓は「これまでのシーズンよりも早くスタートし、できることはすべてやったので自信をもってシーズンに入れると思うのですが、何か大事なことを見落としているような気がして…」とつぶやいた。かくして、その不安は的中する。

プレシーズンマッチ初戦から噛み合わない試合が続く。連携ミスによりアタックがつかない。さらには反則が多く出て、規律という課題も。特にディフェンス面は深刻だった。

不安を抱いた中で迎えた開幕戦。相手は、「ラグビーワールドカップ2019日本大会」で頂点に立った南アフリカ代表SHとして活躍したファフ・デクラークの加入で話題を集める横浜キャノンイーグルスだ。プレシーズンマッチでは19-39と敗れたが、前半から食らいつき接戦を演じるも30-39でノーサイド。第2節花園近鉄ライナーズ戦、第3節グリーンロケッツ東葛戦は連勝し、ここから波に乗りたところだったが、第4節で東京サンゴリアスに完敗。異なるカンファレンスに所属するチーム同士が対戦する交流戦の第6節ヨタヴェルブリッツ戦は、相手に2枚イエローカードが出て数的優位な中でトライを奪われて敗戦という現実には、「どうした神戸スティーラーズ」と、SNSでは厳しい声も。



前半7節を終えた時点で、3勝4敗と負けが先行するチーム状況を受け、福本からSteel Matesに向けて、コメントが発表された。

第8節からは、ワクワクするような「神戸ラグビー」を展開して全勝を。

そう誓うも、14点差をひっくり返した第8節静岡ブルーレヴズ戦での劇的勝利の後、3連敗を喫し、プレーオフ進出が絶望的なものとなり、反対に入替戦がちらつくように。けが人が多数出て、ベストメンバーが組めない中で神戸のプライドを見せようと懸命に戦うも、後半節は第12節グリーンロケッツ東葛戦で挙げた勝利のみに終わる。PR山下裕史がスティーラーズキャップ200試合目の大記録を達成した最終節横浜キャノンイーグルス戦。9位と順位が確定している中で行われたが、大勢のSteel Matesがスタジアムに駆けつけてくれた。勝利への強い意志と姿勢を持って臨むも、結果は26-52で大敗。試合後に行われた山下の挨拶で、彼が最初に発したコメントが、今シーズンの神戸スティーラーズを物語る。

「最終戦でも不甲斐ない試合をしてしまい申し訳ありません」

最終成績5勝11敗9位は、チーム史上ワースト。

「すべての責任は私にある」

シーズン総括記者会見でホルテンは頭を下げ、「神戸ラグビー」を追い求めすぎたと語る。2018年シーズン当時は最新だった「神戸ラグビー」だが、時が経ち、詳細は違えど、どのチームも同じようなラグビーをしていることもあり、相手に対応されてしまった。

「2018年シーズンのラグビーをベースに頂点を狙ったが、過去を振り返りながら、前を向くのは難しいと感じたシーズンだった」

もちろん、けが人の多さや後半の失速など、他にも原因はあるが、新しい取り組みをしないと、今のままでは同じ結果になる。来シーズンは日本一になれる体制を整えて出直す。福本はそう力強く宣言した。

神戸の力はこんなもんじゃない——。選手たちは口をそろえて言い、なんとか現状を打破しようともがいたシーズンだった。グリーンロケッツ東葛戦後の記者会見で、相手チームのキャプテン、レメキ ロマノラヴァが「神戸スティーラーズはメンバーを見ても、下位にいるようなチームではない」と語っていた。

来シーズンは神戸の力を証明するシーズンにしなければいけない。チームに関わるすべての人間が決意する。

Steel Matesを笑顔にできるように——。神戸スティーラーズはリスタートを切る。



# JAPAN RUGBY LEAGUE ONE

## リーグアイデンティティ

### VALUE

#### みんなのために FOR ALL

日本ラグビーが育んだ「多様性の尊重」と「包摂の精神」を、普遍的価値として伝承し発展させていく。

### VISION

#### あなたの街から、世界最高をつくろう。

リーグを取り巻くすべてを、世界最高の名に相応しいクオリティに作りあげ、心躍る体験が、日常に溢れる風景を実現する。

### MISSION

#### 1. ファンが熱狂する非日常空間の創造

だれもがラグビーを夢中になって楽しみ、興奮と感動を共有できる環境をつくる。

#### 3. 地元の結束、一体感の醸成

だれもがそれぞれの立場で参加でき、強いつながりを感じる環境・文化を醸成する。

#### 2. 日本ラグビーの世界への飛躍

日本ラグビーの質と技量の常なる向上を図り、世界に、ラグビーの新たな魅力と驚きをひろげる。

#### 4. 社会に貢献する人財の育成

ファン、チーム、企業、地域とひとつになり、社会に貢献し、世界に羽ばたく人間を育てる。

#### NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022-23 チーム一覧

DIVISION 1		DIVISION 2	DIVISION 3
NECグリーンロケッツ東葛	東芝ブレイブルーパス東京	浦安D-Rocks	NTTドコモレッドハリケーンズ大阪
クボタスパース船橋・東京ベイ	トヨタヴェルブリッツ	釜石シーウェイブスRFC	九州電力キューデンヴォルテクス
コベルコ神戸スティーラーズ	花園近鉄ライナーズ	清水建設江東ブルーシャークス	クリタウォーターガッシュ昭島
埼玉パナソニックワイルドナイツ	三菱重工相模原ダイナボアーズ	豊田自動織機シャトルズ愛知	中国電力レッドレグリオンズ
静岡ブルーレヴズ	横浜キャノンイーグルス	日野レッドドルフィンズ	マツダスカイアクティブズ広島
東京サントリーサンゴリアス	リコーブラックラムズ東京	三重ホンダヒート	



ラグビーセンター長  
水上 孝一  
Koichi MIZUKAMI

日頃よりコベルコ神戸スティーラーズにあたたかいご声援、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。  
多くの皆様からのご声援・ご支援を賜り、シーズンを戦って参りましたが、ファンの皆様のご期待に沿えなかったものと深く反省する次第です。

一方、ジャパンラグビーリーグワンの2年目となるシーズンは、ホストゲームの観客動員の増加(前年比+30%)パートナー企業数の増加(同+100%)、ファンクラブ有料会員数の増加(同+15%)など、チームを応援いただく皆様の広がりには確かな手応えを感じさせていただいたシーズンでもありました。皆様には感謝の言葉しかありません。誠にありがとうございました。

次シーズンに向け、「SMILE TOGETHER ~笑顔あふれる未来をともに~」を改めて胸に刻み、そして悔しさをバネとして、ファンの皆様、地域の皆様、パートナー企業の皆様とともに、大きな飛躍を果たして参りたいと思っております。

今後ともコベルコ神戸スティーラーズに変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



チームディレクター  
福本 正幸  
Masayuki FUKUMOTO

コベルコ神戸スティーラーズにとって、ジャパンラグビーリーグワン2022-23は、チーム史上最も厳しいシーズンとなってしまいました。そのよう状況でもチーム成績に関係なく、ファンの皆様から神戸スティーラーズを愛して応援していただいていることを強く実感できたシーズンとなりました。心より感謝申し上げます。

私たち神戸スティーラーズは1928年に神戸製鋼所ラグビー部として創設され、リーグワン所属チームで最も歴史のあるチームであり、中興の祖「ミスターラグビー」平尾誠二氏の教えである「おもろいラグビー」を追求するDNAが今も受け継がれています。

これからも私たちは、ファンの皆様、地元神戸の皆様、そしてパートナー企業の皆様の心を「おもろいラグビー」で熱く揺さぶり、皆様から愛され誇りとされるチームづくりを目指して参りますので、応援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



キャプテン  
橋本 皓  
Hikaru HASHIMOTO

日頃よりコベルコ神戸スティーラーズに多大なるご支援、ご声援をいただきましてありがとうございます。  
7位に終わってしまったジャパンラグビーリーグワン2022から巻き返そうと挑んだ今シーズンでしたが、9位という結果に終わってしまいました。応援してくださっている皆様の期待に応えることができず、不甲斐ないシーズンとなってしまい申し訳なく思っています。

シーズンを通して、前半は接戦、後半にミスとペナルティーで勢いを相手に渡すという流れを断ち切ることができませんでした。また失点の多さも昨シーズンから改善することができませんでした。

そんな厳しい結果が続く中でも、いつでも熱い声援を送ってくださったパートナー企業の皆様、スチールメイツの皆様にはとても感謝いたします。来シーズンこそは皆さまと優勝の喜びを分かち合えるように、今シーズンの反省を活かして、チーム一丸となって、より一層努力してまいりますので、引き続きご支援ご声援をよろしくお願いいたします。



## Team Emblem

### チームエンブレム

神戸製鋼グループの統一ブランドであるコベルコ、ホストタウンである神戸、  
そして私たちのチームアイデンティティであり、  
チームの愛称として多くのファンの皆様に馴染みのあるスティーラーズを組み合わせた  
「コベルコ神戸スティーラーズ」を2021年より新たなチーム名称として設定。

地元神戸の皆様と共に、チームの新しい歴史を築いてまいります。

[エンブレム]

[ワードロゴ]



[デザインコンセプト]

代々受け継がれる「高炉の赤」とチームの魂である「サラマンダー」を継承しつつ、  
その力強さと躍動感を表現し、チームの燃え上がる熱い想いを新しいデザインに込めました。  
これに港町神戸をイメージさせる「錨」をモチーフとして組み合わせることで、  
神戸に錨を下ろして地域に根差して活動する、我々の決意を表しています。

変幻自在に形を変える『炎』と重厚感と安定感のある『錨』、  
無形と有形の相反する2つのモチーフは、

**「情熱と冷静」「革新と伝統」「自由と規律」**

相反する要素を体現する我々のクリエイティブラグビーを表現しています。

新たなエンブレムと共に我々コベルコ神戸スティーラーズは笑顔あふれる社会づくりに貢献し、  
神戸から日本そして世界へと笑顔の輪を広げてまいります。

## Vision

実現したい未来

### SMILE TOGETHER 笑顔あふれる未来をともに

私たち神戸スティーラーズは笑顔の持つエネルギーを信じている。

どんな逆境でも笑顔で乗り越えていく不屈の姿は世界に大きな驚きと感動をもたらす。  
その瞬間を分かちあい、生まれる笑顔の連鎖で明るい未来を紡いでいく。

創造力で想像以上の世界へ。笑顔溢れる未来をともに。

## Mission

使命

### クリエイティブラグビーで、心に炎を。

神戸スティーラーズはどんな困難な壁にも、不屈の精神で挑み続ける。

強くしなやかでそして自由なクリエイティブラグビーで観る者の心に熱い炎を灯す。

# Team Jersey

## ▶ チームジャージ

### 1st JERSEY



### 2nd JERSEY



神戸製鋼所のシンボルのひとつである、加古川製鉄所の高炉のデザインに加え、今まで以上に地域との繋がりを持って戦うべく、港町神戸のシンボルとなる「錨」と神戸の象徴である六甲山の稜線をジャージデザインへ採用。左胸には、高炉に宿る炎の精霊「サラマンダー」をモチーフとした新エンブレムを、右袖には阪神・淡路大震災から20年をきっかけに生まれた、「神戸の魅力は人である」という思いを集約したシビックプライド・メッセージである「BE KOBE」の文字を配置。

# Home Stadium, Home Ground

## ▶ ホームスタジアム、ホームグラウンド

### HOME STADIUM



■ **神戸総合運動公園 ユニバー記念競技場**  
3万人以上が収容可能な日本有数の総合競技場。周辺にはたくさんの遊具を備えた遊び場や、コスモスの丘等の施設が隣接。三宮から地下鉄で約21分。

### HOME STADIUM



■ **ノエビアスタジアム神戸**  
2019年ラグビーワールドカップ日本大会も開催された、開閉式の屋根を備える全天候型スタジアム。三宮から地下鉄で約10分。

### HOME GROUND



■ **灘浜グラウンド**  
天然芝グラウンドと人工芝グラウンドがあり、人工芝グラウンドは地域住民への貸出も受け付けている。2021年には新クラブハウスも併設。



# Club House

## ▶ クラブハウス

2021年8月、灘浜グラウンドに新クラブハウスが誕生。ラグビーチームの力強さを重厚な鉄の塊で表現した斬新なデザイン。グラウンドに繋がるコリドーには歴代部員のネームボードが飾られるレガシーウォールを配置し、チームの歴史を現役選

手に感じてもらえる設計となっている。またコリドーを核に、コミュニケーション空間を展開。屋内練習場や疲労回復を促すリカバリー水槽など高機能設備を有する。



●レガシーウォール



●ミーティングルーム



●ロッカールーム



●トレーニングルーム



●バーカウンター



●リラックスルーム



### ACCESS



- 🏠 神戸市東灘区御影浜町4番地
- 🚆 阪神本線「御影駅」より
- 🚶 徒歩20分
- 🚗 タクシー5分

# Team History

## ▶ チームヒストリー



### ■ 大会優勝記録一覧



日本ラグビーフットボール選手権大会 優勝：10回 ※歴代最多 (1989, 1990, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995, 2000, 2001, 2018)  
 全国社会人ラグビーフットボール大会 優勝：9回 (1989, 1990, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995, 2000, 2001)



ジャパンラグビー トップリーグ 優勝：2回 (2003-2004, 2018-2019)  
 ジャパンラグビー トップリーグカップ 優勝：1回 (2019)  
 トップリーグプレシーズンリーグ 優勝：1回 (2015)



関西社会人リーグ 優勝：12回 (1983, 1984, 1986, 1989, 1990, 1991, 1992, 1993, 1996, 1997, 1998, 2001)

### ■ 歴代ラグビーワールドカップ日本代表選手 (出場時チーム所属)

大会	年	所属国	人数	選手
第1回大会	1987年	ニュージーランド、オーストラリア	4名	LO大八木 淳史/FL林 敏之/SH萩本 光威/SO平尾 誠二
第2回大会	1991年	イングランド他4カ国	5名	LO林 敏之/LO大八木 淳史/SH堀越 正巳/CTB平尾 誠二/FB細川 隆弘
第3回大会	1995年	南アフリカ	6名	HO弘津 英司/SH堀越 正巳/CTB元木由記雄/CTB吉田 明/CTB平尾 誠二/WTB増保 輝則
第4回大会	1999年	ウェールズ	8名	PR中道 紀和/NO.8伊藤 剛臣/SO岩淵 健輔/CTB元木由記雄/CTB吉田 明/WTB増保 輝則/WTB大畑 大介/FB平尾 剛史 (監督:平尾 誠二)
第5回大会	2003年	オーストラリア	6名	NO.8伊藤 剛臣/NO.8斉藤 祐也/SH苑田 右二/SOアンドリュー・ミラー/CTB元木由記雄/WTB大畑 大介
第6回大会	2007年	フランス	2名	HO松原 裕司/CTB今村 雄太
第7回大会	2011年	ニュージーランド	3名	PR平島 久照/NO.8谷口 到/CTB今村 雄太
第8回大会	2015年	イングランド	4名	PR山下 裕史/HO木津 武士/FL伊藤 鐘史/CTBクレイグ・ウィング
第9回大会	2019年	日本	4名	PR中島 イシレリ/CTBラファエレ ティモシー/WTBアタアタ・モエアキオラ/FB山中 亮平

# Season Summary

▶ シーズン記録

## JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022-23



16試合5勝11敗 勝点25 9位

ホストゲーム [8 試合開催] 総観客数：50,289人 平均観客数：6,286人

節	試合日	対戦チーム	試合会場	試合結果	スコア	観客数
第1節 VISITOR	12月18日(日)	横浜キャノンイーグルス	神奈川/ニッパツ	●	30-39	8,710
第2節 HOST	12月24日(土)	花園近鉄ライナーズ	兵庫/ユニバ	○	58-36	6,060
第3節 VISITOR	1月8日(日)	NECグリーンロケッツ東葛	千葉/柏の葉	○	43-33	2,886
第4節 HOST	1月14日(土)	東京サントリーサンゴリアス	兵庫/ノエスタ	●	19-39	9,161
第5節 VISITOR	1月21日(土)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	東京/江戸川	●	21-25	4,191
第6節 HOST	1月28日(土)	トヨタヴェルブリッツ	兵庫/ユニバ	●	21-38	4,423
第7節 VISITOR	2月5日(日)	三菱重工相模原ダイナボアーズ	神奈川/ギオンズ	○	49-30	3,722
第8節 HOST	2月19日(日)	静岡ブルーレヴズ	兵庫/ユニバ	○	32-29	3,222
第9節 HOST	2月26日(日)	埼玉パナソニックワイルドナイツ	兵庫/ユニバ	●	10-48	7,830
第10節 VISITOR	3月4日(土)	東芝ブレイルーパス東京	東京/秩父宮	●	12-51	6,364
第11節 VISITOR	3月10日(金)	リコーブラックラムズ東京	東京/秩父宮	●	26-41	3,316
第12節 HOST	3月19日(日)	NECグリーンロケッツ東葛	兵庫/ユニバ	○	59-26	5,149
第13節 HOST	3月26日(日)	クボタスピアーズ船橋・東京ベイ	大阪/花園	●	14-23	5,684
第14節 VISITOR	4月7日(金)	東京サントリーサンゴリアス	東京/秩父宮	●	17-25	5,486
第15節 VISITOR	4月14日(金)	花園近鉄ライナーズ	大阪/花園	●	33-34	4,942
第16節 HOST	4月23日(日)	横浜キャノンイーグルス	大阪/花園	●	26-52	8,760

### 個人記録



### 山本 幸輝

「リーグ戦100キャップ達成」

● 初出場試合

2013年8月31日 JAPAN RUGBY TOP LEAGUE 2013-2014 1stステージ第1節 ヤマハ発動機ジュビロ vs クボタスピアーズ (当時 ヤマハ発動機ジュビロに所属)

● 100キャップ達成試合

2023年4月14日 JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022-23 第15節 vs 花園近鉄ライナーズ



### 山下 裕史

「スティーラーズ200キャップ(公式戦)達成」

● 初出場試合

2008年9月6日 JAPAN RUGBY TOP LEAGUE 2008-2009 第1節 vs NECグリーンロケッツ

● 200キャップ達成試合

2023年4月23日 JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022-23 第16節 vs 横浜キャノンイーグルス

### 山中 亮平

「スティーラーズ100キャップ(公式戦)達成」

● 初出場試合

2013年9月7日 JAPAN RUGBY TOP LEAGUE 2013-2014 1stステージ第2節 vs 九州電力キューデンヴォルテクス

● 100キャップ達成試合

2022年12月24日 JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022-23 第2節 vs 花園近鉄ライナーズ

# Team Members

## ▶選手・チームスタッフ

### PLAYERS [選手]

<b>PR</b> 山下 裕史 HIROSHI YAMASHITA	<b>PR</b> <b>VICE CAPTAIN</b> 中島 イシレリ ISILELI NAKAJIMA	<b>PR</b> 山本 幸輝 KOKI YAMAMOTO	<b>PR</b> <b>NEW FACE</b> 五十嵐 優 SUGURU IGARASHI	<b>PR</b> 渡邊 隆之 TAKAYUKI WATANABE	<b>PR</b> 具智元 JIWON GU	<b>PR</b> 高尾 時流 SHIGURE TAKAO	<b>PR</b> <b>NEW FACE</b> 前田 翔 SHO MAEDA
<b>PR</b> <b>NEW FACE</b> 福西 隼杜 HAYATO FUKUNISHI	<b>PR</b> 高橋 陽大 HARUTO TAKAHASHI	<b>HO</b> 有田 隆平 RYUHEI ARITA	<b>HO</b> 王 鏡聞 KYUNGMIN WANG	<b>HO</b> <b>NEW FACE</b> 北出 卓也 TAKUYA KITADE	<b>HO</b> 松岡 賢太 KENTA MATSUOKA	<b>HO</b> 山田 生真 IKUMA YAMADA	<b>HO</b> <b>NEW FACE</b> 酒木 凜平 RINPEI SAKAKI
<b>LO</b> 張 碩煥 SEOKHWAN JANG	<b>LO</b> 小瀧 尚弘 NAOHIRO KOTAKI	<b>LO</b> ジェラード・カウリートゥイオティ GERARD COWLEY-TUIOTI	<b>LO</b> 寺田 桂太 KEITA TERADA	<b>LO</b> JD・シカリング JD SCHICKERLING	<b>LO</b> 今村 陽良 TAKARA IMAMURA	<b>FL</b> 前川 鐘平 SHOHEI MAEKAWA	<b>FL</b> <b>CAPTAIN</b> 橋本 皓 HIKARU HASHIMOTO
<b>FL</b> 前田 剛 GO MAEDA	<b>FL</b> <b>NEW FACE</b> サウマキ アマナキ AMANAKI SAUMAKI	<b>FL</b> 井上 遼 RYO INOUE	<b>FL</b> 粥塚 諒 RYO KAVUTSUKA	<b>NO.8</b> <b>NEW FACE</b> マルセル・クツヴェー MARCELL COETZEE	<b>NO.8</b> トコキオ ソシセニ SOSICENI TOKOIO	<b>NO.8</b> <b>NEW FACE</b> ティエナン・コストリー TIENNAN COSTLEY	<b>NO.8</b> <b>NEW FACE</b> ウィリー・ポットヒッター WILLIE POTGIETER
<b>SH</b> 日和佐 篤 ATSUSHI HIWASA	<b>SH</b> 徳田 健太 KENTA TOKUDA	<b>SH</b> 中嶋 大希 DAIKI NAKAJIMA	<b>SH</b> 小畑 健太郎 KENTARO OBATA	<b>SH</b> <b>NEW FACE</b> 清水 麻貴 MAKI SHIMIZU	<b>SO</b> <b>NEW FACE</b> ボーティン・ワッカ BEAUDEIN WAAKA	<b>SO</b> 日下 太平 TAIHEI KUSAKA	<b>SO</b> <b>NEW FACE</b> <b>VICE CAPTAIN</b> 李 承信 SEUNGJIN LEE
<b>CTB</b> ラファエレ ティモシー TIMOTHY LAFAELE	<b>CTB</b> <b>NEW FACE</b> マイケル・リトル MICHAEL LITTLE	<b>CTB</b> <b>NEW FACE</b> ナニ・ラウマペ NGANI LAUMAPE	<b>CTB</b> 林 真太郎 SHINTARO HAYASHI	<b>CTB</b> 池永 玄太郎 GENTARO IKENAGA	<b>CTB</b> <b>NEW FACE</b> クイントン・マヒナ QUINTON MAHINA	<b>CTB</b> 濱野 隼大 JUNTA HAMANO	<b>WTB</b> 山下 楽平 RAKUHEI YAMASHITA
<b>WTB</b> アタア・モエアキオラ ATAATA MOEAKIOLA	<b>WTB</b> 中 孝祐 KOSUKE NAKA	<b>WTB</b> <b>NEW FACE</b> 杉本 崇馬 SOMA SUGIMOTO	<b>WTB</b> <b>NEW FACE</b> シオネ・タプオシ SIONE TAPU'OSI	<b>FB</b> 山中 亮平 RYOHEI YAMANAKA	<b>FB</b> 井関 信介 SHINSUKE ISEKI	<b>FB</b> <b>NEW FACE</b> 松永 貴汰 KANTA MATSUNAGA	<b>UTB</b> リチャード・バックマン RICHARD BUCKMAN

### STAFF [スタッフ]

ディレクター  
チームディレクター  
メンター  
ヘッドコーチ  
ヘッドフォワードコーチ  
ディフェンスコーチ  
アタックコーチ・アカデミーコーチ  
スクラムコーチ・アカデミーコーチ

水上 孝一  
福本 正幸  
ウェイン・スミス  
ニコラス・ホルテン  
アンドリース・ベッカー  
タイリパー  
森田 恭平  
平島 久照

フォワードコーチ・アカデミーコーチ  
ヘッドS&Cコーチ  
S&Cコーチ  
S&Cコーチ  
S&Cコーチ  
チームマネージャー  
チームアドミニストレーター  
アドミニストレーター  
リクルート・普及  
チームメディアマネージャー  
普及・アカデミーコーチ

橋本 大輝  
ブラッドリー・アンダーソン  
バジル・カージス  
山口 大輔  
齋藤 秀  
藤高 之  
白原 真菜美  
白原 翠  
松井 祥寛  
近藤 洋至  
長崎 健太郎

コーディネーター  
通訳  
通訳  
ヘッドアナリスト  
アナリスト  
アナリスト  
チームアスレティックトレーナー  
アスレティックトレーナー  
アスレティックトレーナー  
セラピスト

山口 真  
濱本 聡仁  
尾崎 悠馬  
ジェームズ・マーティン  
杉野 雄介  
山家 壮貴  
五明 浩一郎  
塚本 真一郎  
谷山 大季  
高橋 功治  
西村 彰徳

アドバイザー  
アドバイザー  
アドバイザー  
アンバサダー  
チームドクター  
チームドクター  
チームドクター  
チームドクター  
チームドクター

増保 輝剛  
ダン・カーター  
アンドリュー・エリス  
大畑 大介  
黒田 良祐  
松本 彰生  
河本 旭哉  
星野 祐一  
黒田 雄一

### マスコットキャラクター



2021年9月28日にラグビーを通じたスポーツの振興、市民の健康増進、地域活性化等を推進することを目的に、事業連携協定を締結。コベルコ神戸スティーラーズは、保有するリソースを活用した地域貢献活動により一層取り組み、神戸市とともに歩んで参ります。

## ■事業連携協定 (内容)

1. スポーツの振興及びラグビーワールドカップのレガシー創出
2. 市民の健康増進、青少年の健全育成、豊かな社会生活の実現
3. 地域活性化
4. 国内外への神戸の魅力発信



## ▶神戸市各局との活動

### ■建設局

【神戸っ子SDGsプログラム】



◎循環型社会について学ぶ「出前授業」と「スイートコーン収穫体験」



【SDGsメッセージ発信コラボ】

### ■消防局・危機管理室

【「秋の火災予防運動」PR活動協力、試合会場での防災PR】



### ■教育委員会

【神戸市内小学校ラグビー教室】



◎スポーツ振興・ラグビー普及・ワールドカップレガシーを目的に、神戸市内小学校ラグビー教室を実施 (令和4年度実績 15校)

### ■福祉局

【ラグビー人権教室に参加】



◎2020年度以来3年ぶりの開催

### ■建築住宅局

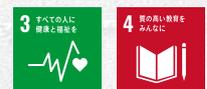
【兵庫児童館ラグビー教室】



◎市営住宅の高齢入居者のコミュニティづくりの一環「コミュニティカフェ」としても開催

### ■文化スポーツ局・教育委員会

【神戸市全小学生を対象とした試合観戦招待】



## 文化スポーツ局

【神戸市長を表敬訪問】



◎シーズン開幕直前に久元神戸市長を表敬訪問



## 【ふるさと納税PR】

◎「ふるさと納税で神戸市のトップスポーツチームを応援しよう!」に参加。神戸市に本拠を置く3チームのトップスポーツチームを応援する、ふるさと納税の使途メニューが新設

## 文化スポーツ局・建設局

【フラワーロード、HAT神戸エリアへの装飾バナー設置】



## 行財政局

【神戸市職員パソコンロック画面へのビジュアル展開】



## 交通局

【開催告知PR】



◎三宮駅を中心としたサインージ広告

◎地下鉄駅構内に等身大選手パネル設置



◎神戸市営地下鉄内でのポスター掲示

## 【応援エコショッピング】



◎お出かけ時の公共交通利用のPRとして、神戸市営地下鉄を利用しての来場でノベルティグッズのプレゼントなどを実施

## 【交通フェスティバル2022 in名谷車両基地に参加】



## こども家庭局

【こべっこウェルカムプロジェクトへの参画】



◎チームオフィシャルグッズの提供

## 企画調整局

【マイナンバーカード取得推進PR活動】



◎市バスラッピング



◎「さんちか」壁面装飾

**経済観光局・神戸住環境整備公社**  
【「スティーラーズ号」出発式】



◎摩耶ケーブルで「スティーラーズ号」が運行  
「赤いスイートピー種まき式」にも参加

**経済観光局**  
【オープンイノベーション事業  
「flag」に参加】



◎地域産業の活性化を目的に、革新的な新規事業開発や課題解決へのチャレンジに必要な資源・技術・ノウハウを持ち得る企業同士で既存の産業構造を越えた新たなビジネスを創出する取り組みに参加

**東灘区**  
【イベント参加】



◎区内に点在する和洋菓子店のオリジナルメニューが楽しめる「ひがしなだスイーツめぐり」に参加



◎「東灘区・住吉川クリーン作戦」に参加

**神戸ウォーターフロント開発機構**  
【神戸ウォーターフロントアートプロジェクト】



◎まちの壁や建物にポートレート（肖像写真）を貼る参加型アートイベントへの協力

**神戸市公園緑化協会**  
【六甲山の間伐材を活用した  
オフィシャルグッズ販売】



◎売上の一部は、六甲山の森林を守り育てていくことを目的に設立された「六甲山もりづくり基金」の活動に活用

**神戸マラソン組織委員会**  
【PRブース出展】



◎「神戸マラソンEXPO 2022」において、PRブースを出展大会ゲストとして大畑大介アンバサダーも参加

**こうべ市民福祉振興協会（しあわせの村）**  
【グッズ制作】



◎ファンクラブポイントサービスでたまったポイントと交換できるグッズとして缶バッジのマグネットをしあわせの村へ制作依頼（300個を制作）

**神戸市スポーツ協会**  
【神戸市スポーツ協会主催の  
ラグビー体験に参加】



## ▶ 地域連携事業

### ■ グッズ展開

【ラグビーボール メッセンジャーバッグ】



◎これまで廃棄処分されていた試合公式球をお洒落なメッセンジャーバッグにリメイク



【鉄人28号 コラボグッズ】



◎神戸のヒーロー・鉄人28号とのコラボグッズ展開



### ■ 試合告知・チームPR



◎神戸地下街さんちかへの広告掲出



◎三宮繁華街でのチラシ配り



◎チーム装飾設置：御影駅／岩屋駅



◎デジタルサイネージ掲出：阪神三宮駅／甲子園駅／梅田駅



### ■ 企業連携

【白鶴酒造株式会社 訪問】



◎地元白鶴酒造株式会社様と地域交流会を実施



【株式会社神戸国際会館】



◎「WAになってうたおう! ~リモート大合唱~」企画に協力



### ■ SDGs 環境保全

【カナカ生分解性バイオポリマー Green Planet® カトラリー採用】



◎ホストゲームの“神戸マルシェ”（飲食売店）にて、地球環境に優しい、株式会社カナカで開発された100%バイオマス由来の生分解性バイオポリマー Green Planet製のストロー・スプーン・フォークの提供を開始



### ■ SDGs 環境保全

【「KOBELCOの森で遊ぼう! 学ぼう!」】



◎兵庫県立三木山森林公園内の「KOBELCOの森」において、小学生を対象に、森に親しみ、森を考え、森を大切にする気持ちを育んでもらうことを目的に開催



## ■ イベント参加

### 【KOBE元気まつり2022】



◎KOBE元気まつり2022 (主催：神戸市) に出店



### 【第13回UNIVER祭】



◎UNIVER祭 (主催：神戸市公園緑化協会) に出店  
ラグビー体験イベントを実施



### 【第35回RICサマーイブニングカーニバル】



◎選手・スタッフが出演 (主催：六甲アイランドCITY自治会)



### 【HAT 減災サマー・フェス】



◎ラグビー体験イベントを実施  
(主催：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター)



## ■ 社会貢献



### 【兵庫県赤十字血液センター】

◎献血促進ポスターへの出演による、献血キャンペーンPR

### 【兵庫盲導犬協会】



◎試合会場での盲導犬支援募金、チャリティーグッズ販売



### 【児童見守り隊活動】



◎2019年6月より神戸製鋼所神戸本社近隣小学校の児童見守り隊活動を実施



### 【2023年トルコ・シリア地震 救援金募金活動】



◎試合会場での募金349,882円とチーム有志からの義援金82,376円を併せた合計432,258円を日本赤十字社兵庫県支部を通じて被災地へ



## Steel Mates

### ■ ファンクラブ概要

ファンクラブ「Steel Mates (スティールメイツ)」では、より多くの方々にスタジアムで試合を観戦いただき、現地観戦特有の臨場感や選手たちの熱意を味わうことでラグビー観戦の良さを知ってもらいたい、との思いからお得に試合観戦ができるチケット特典をご用意。

ホストゲームの恒例イベントとなったビッグジャージベアラーには多くの会員に参加いただき、ゴールド会員向けにはキックオフボールプレゼンターと選手バスお出迎えイベントを実施することで、会員しか経験できない特別な体験を提供いたしました。

### ● 実施イベント・企画

- ・公開練習
- ・クラブハウスツアー
- ・ラグビーフェスタ ゴールド会員限定観戦エリア
- ・選手バスお出迎え
- ・キックオフボールプレゼンター
- ・ビッグジャージベアラー
- ・ジュニア会員向けインタビュー体験
- ・ファン感謝祭
- ・会員限定コンテンツ配信
- ・会員限定グッズ販売

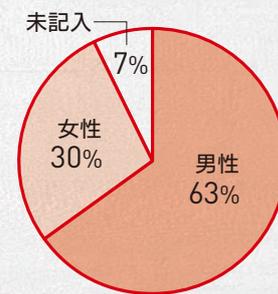
### ■ 2022-23シーズン会員情報 [2023年4月末時点]

有料会員 : 5,373名 [昨年度比 +762名]

無料会員 : 5,498名 [昨年度比+2,041名]

計 : 10,871名

### 2022-23シーズン 男女内訳



コロナ禍で自粛されていたファンとの交流も段階的に再開  
3年ぶりの公開練習とファンサービスを実施

シーズン終了後のファン感謝祭は初の2部構成で実施

## ■ コベルコ神戸スティーラーズ小学校卒業記念交流戦



◎ 3月19日、第12節GR東葛戦の前に「Kura Sushi Presentsコベルコ神戸スティーラーズ小学校卒業記念交流戦」(共催：兵庫県ラグビーフットボール協会)を開催。

本大会は大畑大介アンバサダーの「レギュラーであるなし関係なく6年生全員がチームのユニフォームを着て、勝敗にこだわることなく試合をし、小学校最後の思い出を作してほしい」との思いから昨年より実施しており、今年で2回目の開催。

今年の大会はオフィシャルパートナーである、くら寿司株式会社様に冠スポンサーとしてご協賛いただき開催しました。

## ■ 全国高等学校ラグビーフットボール大会(花園大会)／全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会(KOBELCO CUP)への協賛



◎ 高校生ラグビーの夢の舞台上、102回の開催を誇る伝統の「全国高校ラグビー花園大会」および、合同チームによる高校生たちの全国大会「KOBELCO CUP」に協賛。

スティーラーズ選手による、指導や講習会も実施。

## ■ Kura Sushi Presents 神戸スティーラーズカップ2023



◎ 5月13日・14日に灘浜グラウンドにて兵庫県下の20チームの小学6年生を対象とした小学生ラグビー大会「Kura Sushi Presents神戸スティーラーズカップ2023」を開催。

選手が主体性を持ち、のびのびプレーできるようなルールなど4つの特別ルールを設定。

〈特別ルール〉

- ① 監督・コーチは選手を怒る事や指示する事を禁止
- ② 上記のルールを違反した場合は監督・コーチを退場処分とする可能性あり
- ③ 各選手に両日ともに15分以上のプレータイムを与えること
- ④ 大会に参加する全ての参加者(選手・コーチ・保護者・観戦者・運営)はポジティブな声掛けを意識すること

## ■ スポーツNPO法人SCIXとの事業連携



◎ 2022年11月1日、神戸を拠点に活動するスポーツNPO法人SCIX(初代理事長・平尾誠二)と事業連携協定を締結。スポーツ及びラグビーの振興と子供たちの健全育成、人材育成、神戸市民の健康増進や地域活性化を協働。

※スポーツNPO法人SCIX(特定非営利活動法人スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構)

ラグビーの“基本”を兵庫県で活動する日本ラグビーの次世代を担う子供たちに伝え、全国、世界へ羽ばたいていける選手を育成したいと考え、ステイラーズ史上初の下部組織として2021年10月に本アカデミーを創設。

2022年はアカデミー初となる県外チームとの対外試合を実施。対外試合では全国有数の強豪校である、東海大学附属大阪仰星高等学校中等部に勝利するなど、日頃の活動の成果が見られた1年でした。

## ● アカデミー概要 2022年度

- ・ 場所：神戸製鋼灘浜天然芝グラウンド
- ・ 活動日数：47日  
(トレーニング40回・試合 小学生2回 中学生5回)
- ・ コーチ：森田恭平、長崎健太郎、大石嶺、濱島悠輔、松井祥寛、橋本大輝、平島久照
- ・ 登録選手数：74名  
小学5・6年生 31名 / 中学生 43名

## VALUE [実現したい未来]

- ・ 兵庫県から日本ラグビーをリードし、世界で活躍できる選手を育成する。

## MISSION [使命・存在意義]

- ・ 平日に子供たちにラグビーができる環境を提供し、兵庫県のラグビー普及に寄与する。
- ・ ラグビー(スポーツ)を通じて、豊かな人間形成に寄与する。

## POLICY [方針]

- ・ ラグビーの構造を理解し、ハンドリング、状況判断といった基本スキルを高いレベルで遂行できるようにサポートする。
- ・ 楽しいからこそ、成長できる環境を作る。
- ・ 自ら考える力、決断する力、自分の考えを周囲に伝える力、そして傾聴する力を身につけ、自主性・主体性を持って行動できる魅力ある人間形成をサポートする。



# Partner Activity ▶ パートナーアクティビティ

今シーズンも多くの企業様にサポートいただくとともに、様々なアクティベーションを通じてSteel Matesの皆様はもちろん、ホストエリアである神戸市を共に盛り上げていただきました。



マッチデーを実施  
[大和ハウス工業様、神戸新聞社様、TC神鋼不動産様、日本郵船様]



試合会場でサンプリングを実施  
[キリンビール様、キリンビバレッジ様、ミカレア様]



ホストゲーム会場で車両展示  
[ヤナセ様]



関連施設でのキャンペーン  
[花王様]



マッチデープログラムへの広告掲載  
[コクヨマーケティング様]



チームカラーマスクの着用  
[興和様]



SNSでキャンペーンを実施  
[キリンビール様]



オリジナル販機ラッピング  
[キリンビバレッジ様]



パートナー企業様向けシーズン報告会を実施



## ● サポートステーション

38店舗の皆様に加盟いただき、チームの情報発信の拠点としてご協力いただきました。



## ● 法人向けシーズンシート

今シーズンより発売を開始した法人向けシーズンシートでは、38社にご購入いただきました。最終戦では購入企業様への感謝を込めてスタジアム特別見学ツアーを実施しました。



# KOBE "SMILE" PARK

▶ホストゲーム試合会場イベント

コベルコ神戸スティーラーズのホストゲームでは毎試合「笑顔あふれる空間」をご来場の皆様に体感頂けるよう、「KOBE "SMILE" PARK」と称したイベントを開催しました。



◎日付が入ったNEWフォトスポット



◎4種目に本気でチャレンジ「ガチチャレ」



◎スティーラーズ仕様ラッピングショベルカーが登場



◎ARフォトフレームの設置



◎陸上自衛隊中部方面音楽隊協力のもと、特別コンサートを開催



◎自衛隊兵庫地方協力本部による自衛隊車両展示



◎B1リーグ「京都ハンナリーズ」コラボ企画 バスケット体験&マスコット「はんにゃリン」が来場



◎「オリジナル応援うちわ」作り



◎「レインボーフラッグ」配布



◎歴代ジャージ展示



◎場外トークショー

## KOBE EXECUTIVE SEATS

### スタジアムホスピタリティ

ホストゲームでは、特別入場口・特別専用シートやケータリングサービスがパッケージとなった観戦プログラムを実施。パートナー企業様の他、2022-23シーズンから一般販売席（神戸ユニバー競技場のみ）を設け、ホストゲームを特別な空間でホスピタリティあふれる試合観戦プランとしてご利用いただきました。



# Public Relations ▶ 広報活動

▶ 公式サイト [www.kobesteelers.com](http://www.kobesteelers.com)



2022-2023 Record achievement candidate

2022-2023 日本ラグビーフットボール協会賞

2023年4月28日発表

選手名	所属	得点	キック	トライ	タックル	タックル成功率	タックル成功率	タックル成功率
山内 康	神戸	48	2	47	49	1	1	1



チーム公式HP 年間アクセス人数 **55万7,003人**  
[昨年比 +51,317人]  
 年間アクセス回数 **148万8,950回**  
[昨年比 +213,518回]  
 期間：2022年6月1日～2023年5月31日



▶ 公式アプリ



マーケティング・エンゲージメントの強化を目的に公式アプリを運用。  
 スタジアム来場時のチェックイン機能や選手の壁紙がもらえるウォーク機能など、スタジアム観戦がより楽しくなる機能が充実。是非ダウンロードの上、試合会場にご来場ください。



● 主な機能

- ・ チーム情報のPUSH通知
- ・ オリジナル動画や
- ・ 試合来場時チェックイン機能
- ・ 試合ハイライト等の視聴
- ・ ウォーク機能

▶ SNS公式アカウント [2023年5月31日時点]

Instagram



35,305 FOLLOWERS  
[昨年比 +2,669]



Twitter



21,910 FOLLOWERS  
[昨年比 +3,777]



Facebook



7,361 FOLLOWERS  
[昨年比 +279]



YouTube



5,540 FOLLOWERS  
[昨年比 +1,620]



LINE



2,609 FOLLOWERS  
[昨年比 +737]



# OFFICIAL PARTNER

オフィシャルパートナー

## PREMIUM PARTNER



## GOLD PARTNER



大林組



## SILVER PARTNER



## OFFICIAL SUPPORTER



## OFFICIAL SUPPLIER



## HOSTAREA PARTNER



KOBELCO